

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 190

発生場所	玄関	精神・意識障害の有無	リスク B. 物の性能のリスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所（その他）		無	
関連したもの	標識・表記	発生内容の分類	
		転倒	

発生内容

病院玄関で、杖歩行をしていた外来患者が点字ブロック（点状ブロック）で滑って転倒。

概要

外来受診の患者で、家族と一緒に来院。杖を使用していたが点字ブロック（点状ブロック）の上に杖がのってしまい滑って転倒。大腿部頸部骨折にて入院、手術となった。通院歴は長かった患者であったため、病院の構造等については、理解されていたが、たまたま、杖がブロックの上ののってしまった。

要因

点字ブロックの高さ等に問題があったのではないかと考え、建築業者に確認を依頼。点字ブロックは決められた物を使用しており、問題はなかった。また、外すことも検討したが、眼の不自由な方にとっては、必要であるためそのままとした。

対策

玄関入口の床に、“足元に注意してください”と表示した。

参照

